

平成29年1月吉日

会員各位

公益社団法人高知県理学療法士協会
教育部部長 塚本 琢也

第27回高知県理学療法士協会新人発表学術集会演題プログラムの

追加演題と訂正のお知らせ

新人会員の皆様におかれましては、発表会に向けて日々精進されていることと存じます。さて、先日発送した新人発表学術集会の演題プログラムに追加演題と一部訂正箇所がありましたので、下記の通りお知らせ致します。訂正箇所については、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。この場をおかりして深くお詫び申し上げます。

なお、修正された演題プログラムは、今回発送致しませんが、県士会 HP に修正版をアップしておりますのでご参照下さい。

<追加演題>

S8-6 西原 弘太郎 医療法人おくら会 芸西病院 橋出血により失調症を呈した症例を経験して

<訂正箇所>

誤) S5-3 医療法人治久会 もみのき病院 → 正) S5-3 医療法人須崎会 高陵病院

<連絡先>

〒780-8522 高知県高知市廿代町 2-22

社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院理学療法室 塚本 琢也

TEL : 088-822-5231(代表) [E-mail:kyouiku@kopta.net](mailto:kyouiku@kopta.net)

～演題発表プログラム～

＜前半の部(14:20開始)＞

セクション 1 (神経)

S1-1	戸田 和伸	トダ カズノブ	医療法人地塩会 南国中央病院
S1-2	和田 侑子	ワダ ユウコ	社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院
S1-3	澤田 裕	サワダ ユウ	医療法人恕泉会 リハビリテーション病院すこやかな杜
S1-4	岡村 茜	オカムラ アカネ	医療法人公世会 野市中央病院
S1-5	松田 彩	マツダ アヤ	医療法人臼井会 田野病院

座長 医療法人 新松田会 愛宕病院 石川 翔太郎

橋梗塞を呈した一症例 ～体幹失調を経験して～
 左片麻痺患者に対して歩行練習アシストを使用した歩行改善の効果
 脳梗塞による右片麻痺を呈した一症例 ～退院後の不整地作業獲得への取り組み～
 小脳出血を呈した症例
 尖足により荷重量が減少した症例の歩行獲得に向けた取り組み
 ～体幹機能に着目して～

セクション 2 (神経)

S2-1	白石 朋也	シライシ トモヤ	医療法人十全会 早明浦病院
S2-2	山崎 真	ヤマサキ シン	日本赤十字社 高知赤十字病院
S2-3	小野川 季	オノガワ ミノル	医療法人臼井会 田野病院
S2-4	池上 尚志	イケノウエ ヒサシ	医療法人新松田会 愛宕病院
S2-5	水田 好隆	ミズタ ヨシタカ	医療法人尚腎会 高知高須病院

座長 医療法人おくら会 芸西病院 橋本 洋平

認知症を呈し脳梗塞を発症した症例を担当して
 中心性頸髄損傷の症例を経験して
 両側THAを既往にもつ、心原性脳塞栓症を発症した症例を経験して
 ～体幹・臀筋群に主眼を置いたアプローチ～
 小脳障害により動揺性歩行を呈した症例 一肢関節の認識に着目して一
 頸椎椎弓切除・固定術を施行し 上肢脊髄症状を呈した症例
 ～食事動作に着目して～

セクション 3 (神経)

S3-1	杉本 良太	スギモト リョウタ	医療法人公世会 野市中央病院
S3-2	宮地 悠平	ミヤジ ユウヘイ	医療法人地塩会 南国中央病院
S3-3	岸 伸子	キシ ノブコ	医療法人地塩会 南国中央病院
S3-4	刈谷 直基	カリヤ ナオキ	社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院
S3-5	山中 紳平	ヤマナカ シンペイ	医療法人新松田会 愛宕病院

座長 医療法人恕泉会 リハビリテーション病院 すこやかな杜 山崎 幸子

頸髄損傷を呈した症例 ～歩行能力向上を目指したアプローチ～
 ラクナ梗塞により左片麻痺を呈した症例 ～歩容改善をめざして～
 pusher現象を経験して
 引っぱり動作が著明な左片麻痺患者のT字杖歩行獲得に向けたアプローチ
 左片麻痺患者の歩行システム再構築に向けた取り組み
 ～運動観察と認知運動課題に着目して～

セクション 4 (運動器)

S4-1	中脇 凜人	ナカワキ リント	医療法人創治 竹本病院
S4-2	結城 静	ユウキ シズカ	医療法人大生会 伊藤整形外科
S4-3	小島 有沙	オジマ アリサ	医療法人創治 竹本病院
S4-4	田村 太一	タムラ タイチ	医療法人互生会 筒井病院
S4-5	猪木 愛佑美	イノキ アユミ	医療法人ハンズ高知 フレッククリニック

座長 独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院 大山 幸綱

右TKA後左膝関節疼痛緩和に向けての介入
 半月板損傷術後 ～理学療法評価の重要性～
 大腿骨頸部骨折術後患者の活動的な日常生活の獲得に向けて
 大腿骨頸部骨折患者の退院に向けての取り組み
 ～介護予防事業参加がQOL向上に繋がった例～
 膝蓋骨低位を呈した右人工膝関節再置換術の症例を経験して

セクション 5 (運動器)

S5-1	戸田 浩貴	トダ ヒロキ	医療法人高尚会 川田整形外科
S5-2	田中 大貴	タナカ ダイキ	医療法人地塩会 南国中央病院
S5-3	中岡 飛鳥	ナカオカ アスカ	医療法人須崎会 高陵病院
S5-4	青木 英美	アオキ ヒデミ	医療法人新松田会 愛宕病院
S5-5	若村 陽香	ワカムラ ハルカ	医療法人新松田会 愛宕病院

座長 医療法人五月会 須崎くろしお病院 西村 公佑

股関節外転筋トレーニングによる膝外反角度の変化
 ～knee-inを呈するACL術後の症例を経験して～
 左踵骨骨折を呈した症例 ～左立脚期に着目して～
 左大腿骨転子部骨折術後の理学療法
 人工股関節全置換術後に股関節の運動認識が低下していた一症例
 -デュシャンズ徴候改善を目指して-
 人工股関節全置換術後も異常歩行が残存した症例の歩容改善を目指したアプローチ
 -関節覚と運動パターンに着目して-

セクション 6 (生活環境支援)

S6-1	竹谷 洋平	タケタニ ヨウヘイ	社団若鮎 北島病院
S6-2	森 愛佳	モリ アイカ	医療法人産研会 上町病院
S6-3	木村 瑠偉	キムラ ルイ	医療法人互生会 筒井病院
S6-4	久米 哲司	クメ テツジ	医療法人臼井会 田野病院
S6-5	長野 晃久	ナガノ アキヒサ	医療法人公世会 野市中央病院

座長 医療法人白菊会 白菊園病院 桜木 康仁

介護スコアとBarthel Indexを用いた自宅復帰における阻害因子の検討
 重度視覚障害患者の歩行様式変更に難渋した症例を経験して
 左片麻痺を合併した左大腿骨転子下骨折の症例 -自宅復帰に向けた取り組み-
 右被殻出血を呈した就業患者に対するリハビリテーションとフォローアップ
 認知症患者に対する移乗動作獲得へのアプローチ

セクション 7 (基礎・内部障害・物理療法)

S7-1	氏原 拓真	ウジハラ タクマ	医療法人金峰会 山崎病院
S7-2	穂満 孝之	ホウマン タカユキ	医療法人恕泉会 内田脳神経外科病院
S7-3	嶋崎 千晃	シマサキ チアキ	社団若鮎 北島病院
S7-4	三谷 幸平	ミタニ コウヘイ	医療法人防治会 いずみの病院

座長 医療法人新松田会 愛宕病院 明神 孝輔

うっ血性心不全に反復性肺炎を合併した症例を経験して
 移乗方法を選定する上での着眼点
 高齢者低栄養患者における運動強度・運動量を考慮した在宅復帰への関わり
 深部静脈血栓症(DVT)に対しリスク管理と積極的な早期離床を行なった症例

S7-5 浦木 啓徳 ホキ アキノリ 医療法人聖真会 渭南病院

運動が習慣化したことで呼吸困難感が軽減した症例

セクション 8 (神経)

S8-1 中川 結貴 ナカガワ ユキ 医療法人公世会 野市中央病院

座長 リハビリテーション専門学校 高知医療学院 八坂 一彦

腰椎後縦靭帯骨化症術後両下肢不全麻痺を呈した症例
～ 移乗動作に着目して～
左ラクナ梗塞(右片麻痺)の歩行獲得にむけて

S8-2 山本 将司 ヤマモト マサン 医療法人地塩会 南国中央病院

今回の脳梗塞により両側片麻痺となり歩行障害を呈した患者を担当して

S8-3 植木 裕太 ウエキ ユウタ 医療法人恕泉会 リハビリテーション病院すこやかな杜

Prader-Willi症候群の小児リハを経験して
～症例と関わった半年間で私が得たもの～
片麻痺患者の歩行獲得に向けた取り組み～立位姿勢に着目して～

S8-4 畠中 亜莉沙 ハタケナカ アリサ 医療法人白井会 田野病院

橋出血により失調症を呈した症例を経験して

S8-5 西森 涼子 ニシモリ リョウコ 医療法人治久会 もみのき病院

S8-6 西原弘太郎 ニシハラ コウタロウ 医療法人おくら会 芸西病院

セクション 9 (神経)

S9-1 野村 美奈 ノムラ ハルナ 医療法人公世会 野市中央病院

座長 医療法人白井会 田野病院 森下 誠也

外傷性くも膜下出血を呈した症例

S9-2 川西 祥太 カワニシ ショウタ 医療法人公世会 野市中央病院

脳梗塞を呈した症例～ADL介助量軽減を目指して～

S9-3 嶋内 祐輝也 シマウチ ユキヤ 医療法人恕泉会 内田脳神経外科病院

慢性片麻痺患者のリスクと可能性～先を見据えたADLへのアプローチ～

S9-4 山本 鮎子 ヤマモト アユコ 医療法人防治会 いずみの病院

歩行時に高ケイデンスとすくみ足を呈したパーキンソン病患者に対する聴覚的cueを用いたアプローチ

S9-5 松本 真維 マツモト マイ 医療法人新松田会 愛宕病院

左側の重度片麻痺と半側空間無視を呈した症例の移乗動作自立を目指して
～ 体幹の機能システムにおける構成要素に着目した結果～

セクション 10 (運動器)

S10-1 久保 円 クボ マドカ 医療法人地塩会 南国中央病院

座長 医療法人緑風会 海里マリン病院 伊藤 一法

右踵骨骨折に対する足部へのアプローチ

S10-2 牧村 奈穂 マキムラ ナホ 医療法人五月会 須崎くろしお病院

右大腿骨遠位端骨折を呈した症例を経験して
～転倒・骨折を繰り返す症例に対する転倒予防への介入～
右膝関節痛により異常歩行を呈した症例に対する徒手療法と運動療法の成果

S10-3 清水 栄治 シミズ エイジ 医療法人新松田会 愛宕病院

著しい股関節機能の低下が生じた大腿骨転子部骨折患者を担当して

S10-4 山崎 颯 ヤマサキ ハヤテ 医療法人松田会 近森オルソリハビリテーション病院

両人工股関節破損し再置換術を施行した症例を経験して

S10-5 富永 沙英 トミナガ サエ 医療法人五月会 須崎くろしお病院

人工股関節全置換術後に代償動作での歩容が残存した一症例

S10-6 上島 将史 カミシマ マサン 医療法人新松田会 愛宕病院

セクション 11 (運動器)

S11-1 山崎 啓太 ヤマサキ ケイタ 医療法人新松田会 愛宕病院

座長 医療法人地塩会 南国中央病院 阿部 誠

鎖骨骨折受傷後一年経過し外来リハビリ開始となった一症例
～ROM制限改善に対し、不良姿勢、筋緊張亢進、疼痛などの問題に着目して～
皮膚潰瘍患者の創部状態に応じた運動プログラム

S11-2 立石 香乃 タテイシ カノ 社会医療法人近森会 近森病院

SSP不全断裂により疼痛が残存した症例

S11-3 畠山 桂 ハタケヤマ カツラ 医療法人博恵会 町田整形外科

右BHP術後の右膝痛を呈した症例～歩行耐久性向上に着目して～

S11-4 安森 万奈 ヤスモリ マナ 医療法人創治 竹本病院

変形性膝関節症患者の歩行速度にSeated side tapping Testが与える影響について

S11-5 坂田 尚諒 サカタ ナオアキ 医療法人睦会 中内整形外科クリニック

セクション 12 (基礎・内部障害・物理療法)

S12-1 岡林 雅樹 オカバヤシ マサキ 社会医療法人近森会 近森病院

座長 高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 安井 正顕

下肢免荷状態にある終末期がん患者の早期自宅復帰に向けた介入

S12-2 山下 翔二 ヤマシタ ショウジ 医療法人新松田会 愛宕病院

脱水後廃用症候群により歩行能力低下を呈した患者に対しての体幹へのアプローチ

S12-3 左京 宗顕 サキョウ ムネアキ 医療法人新松田会 愛宕病院

足底感覚を正しく認識することでトイレ動作が安定した一症例

S12-4 吉村 健二 ヨシムラ ケンジ 医療法人聖真会 渭南病院

～ 右下肢への荷重に着目して～
残尿が多く導尿が必要な患者の排尿自立に向けての取り組み

セクション 13 (生活環境支援)

S13-1 宮脇 渉 ミヤワキ ショウ 医療法人新松田会 愛宕病院

座長 社会医療法人近森会 訪問リハビリテーションちかもり 宮本 洋介

アルツハイマー型認知症に伴い意欲と運動学習の低下が移乗動作獲得の阻害となった一症例

S13-2 有田 怜 アリタ レイ 医療法人白井会 田野病院

SMA児の移動手段獲得に向けた関わり
～ 電動車椅子操作自立を目指して～

S13-3 安岡 一磨 ヤスオカ カズマ 医療法人川村会 くぼかわ病院

右腕神経叢損傷を合併した左片麻痺患者を経験して～起居動作に着目して～

S13-4 水田 恵子 ミズタ ケイコ 医療法人長島会 永井病院

デイケア利用者の歩行獲得に向けた取り組み

S13-5 山崎 晃治 ヤマサキ コウジ 社会医療法人近森会 近森病院

病状悪化により入院となった夫婦の自宅退院へ向けた関わり

S13-6 森 雅史 モリ マサフミ 医療法人恕泉会 内田脳神経外科病院

認知症による活動性低下のみられる患者への介入
～日常生活活動からの関わりを通して～